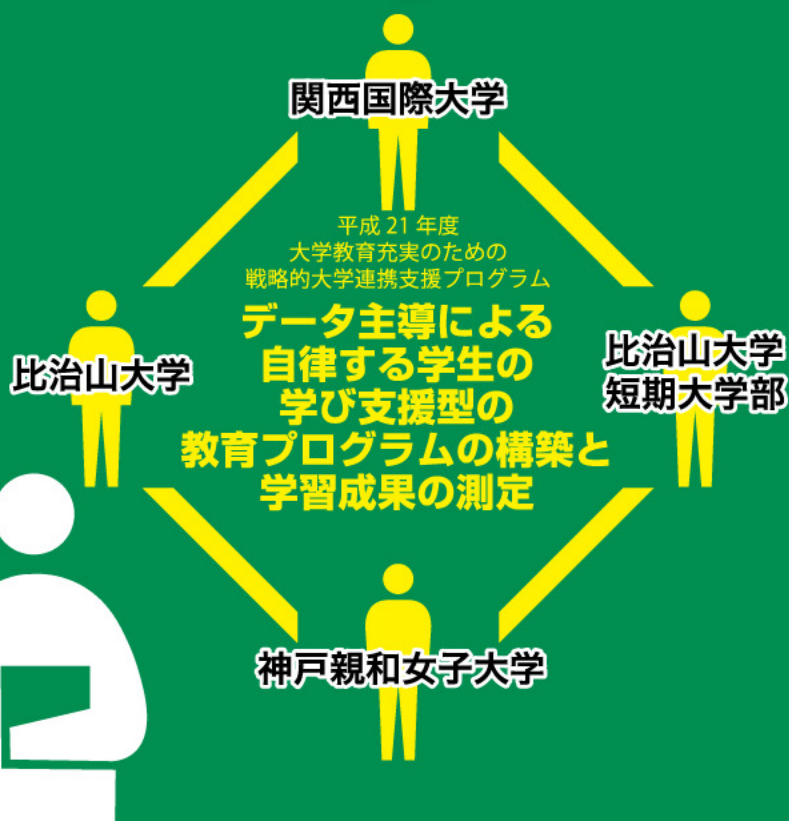




「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」とは？

文部科学省の事業。国公立大学間の積極的な連携を推進し、各大学における教育研究資源を有効活用することにより、当該地域の知の拠点として、教育研究水準のさらなる高度化、教育活動の質保証、個性・特色の明確化に伴う機能別分化の促進と相互補完、大学運営基盤の強化等とともに、地域と一体となった人材育成の推進を図ることを目的としています。

4 大学連携



取組の概要

高等教育のユニバーサル化に伴い、大学は多様な学生を受け入れるようになってきた。多様な学生をいかに大学生活に適應させ、ジェネリックスキルを身につけた「自律した学習者」へと成長させるかが、今日の高等教育の大きな実践課題となっている。

本取組では、規模がほぼ同等で、教育分野も近い大学が連携し、データに基づいた教育プログラムの開発を行なう。また、遠隔講義システムを活用することにより、4 大学の間で、教育プログラムの相互利用を推進する。

学習成果の測定と学習支援の必要性について、学生個人レベル、プログラムレベル、機関レベルと、それぞれの段階でデータ分析を行ない、教育効果測定の基盤を重層的に構築する。各大学で一元管理したデータベースを 4 大学で共有することで、学生・学習支援に有効なプログラムを開発する際の知見が得られる。このような「学習支援型 IR」を構築し、そのデータをもとに、効果的な教育プログラムを開発することが本取組の目的である。



社会的な連携取組の必要性およびその背景

産業界からも、大学での学びの成果が問われている。そこで問われているのは、学部学科を問わず、大学卒業者（学士）に共通に求められるジェネリックスキルである。論理的思考力・問題解決能力・コミュニケーション能力・チームワーク力・情報活用能力を身に付けた「自律した学習者」の育成が強く要請されている。



戦略的大学連携支援プログラム

関西国際大学

全国に先駆け、1998 年に「学習支援センター」を設置し、学生・学習支援を実践。学生・学習支援 10 年間のノウハウツインキャンパス

神戸親和女子大学

通学部・通信教育部を併設。多様な学習ニーズを持つ学生を受け入れた教育。通信教育のノウハウキャンパス+サテライトキャンパス

比治山大学

学習支援型 IR 構築のための基盤となる学生情報の保有、活用。学生情報データ・先行事例のノウハウ比治山大学短期大学部との共同キャンパス

比治山大学短期大学部

学習支援型 IR 構築のための基盤となる学生情報の保有、活用。学生情報データ・先行事例のノウハウ比治山大学との共同キャンパス



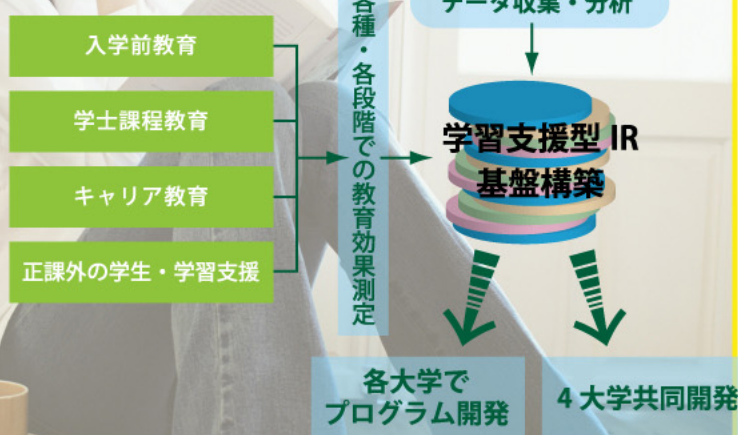
大学間連携により得られる 教育研究効果

4 大学が連携し、①入学前教育、②初年次教育を含む学士課程教育、③キャリア教育・インターンシップといった非伝統型のプログラム、④リメディアル教育といった正課外の学生・学習支援に取り組む。正課・正課外の各種学生情報、教育情報のデータ収集・分析、ならびに各種・各段階での教育効果測定により、組織的、重層的な「学習支援型 IR」の基盤を構築し、データ主導による教育プログラムを開発することができる。

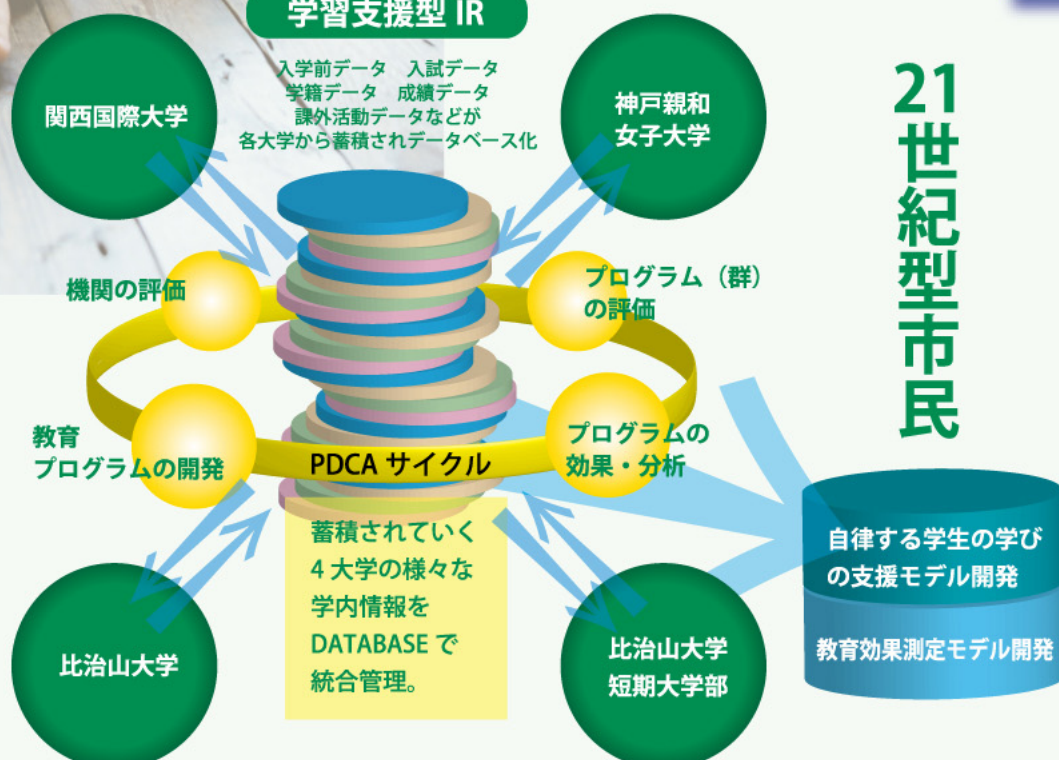
遠隔講義システムを活用することで、教育プログラムを効率的に、共有することができる。入学前教育を例にすると、個別の大学でプログラム開発をする部分があれば、その一方で、スタディ・スキルなどのプログラムは共同で開発し、遠隔講義システムを使って共有した方が効率的である。これから学生・学習支援を強化しようとする大学にも、本取組での成果を、実証的な事例として示すことができる。

大学
連携

4 大学連携の取組



学習支援型 IR



4 大学のノウハウと蓄積されていくデータをベースに学習支援型 IR で大学卒業生の自律的成長と成功に寄与する

21世紀型市民

学習支援型 IR とは

入学試験の成績や入試区分、高校の成績・評定平均値、入学前教育を受講したかどうかなどの「入学前情報」。履修登録、学業成績などの「教務情報」。奨学金の受給状況、クラブ・サークルの所属などの「学生生活情報」。これらの個別情報を、各部局単位で管理するのではなく、一元管理したうえで構築される、重層的なデータベースである。

現状であれば、ひとりの学生の属性情報を知りたい場合は、本人に面談をして、各部局から情報を取り寄せなければならない。それに対して、学生情報を一元管理しておけば、より効果的に学生・学習支援に役立てることができる。さらに、各大学で一元管理したデータベースを、4 大学で共有することで、大量のデータから、学生・学習支援に有効なプログラムを開発する際の知見が得られる。

段階別の情報収集



4 大学連携

4 大学の連携でより多くのデータ集積が可能に！

大学連携の年次計画

1 年目

- 1.E ラーニングコンテンツ等の相互利用とその準備
 - ・現在、各大学が保有しているものを提供
 - ・遠隔講義システムの導入
2. 教育プログラムの開発・実施準備
 - ・国内大学調査と海外大学調査
 - ・インターネットを介しての情報収集
3. 学生支援・学習支援型データベースの設計（参加大学の IT 環境の確認）
4. 学生支援・学習支援型データベースシステムの分析・診断システムの開発
 - ・米国大学調査

2 年目

- 1.E ラーニングコンテンツの相互利用
 - ・新プログラムの開発と改善
2. ジェネリックスキル育成型教育プログラムの相互利用と新プログラムの開発・実施
 - ・インテンシブプログラム、国内外インターンシッププログラム
 - ・国内外フィールドスタディプログラム
3. データベースの開発
 - ・提供プログラム参加学生のバックグラウンドデータの蓄積および学習効果の試行分析
 - ・参加大学間のシステムチューニング
4. 学生支援・学習支援型データベースシステムの分析・診断システムの開発の継続
 - ・米国 AIR、米国大学調査、英国大学調査

1. 教育プログラム新プログラムの
2. データベースの
3. 学生支援・学習診断システムを

※本取組期間終了後も継続教育効果測定プログラム

学習支援型 IR の開発と情報活用

4 大学の蓄積されたデータ

「学習支援型 IR」を開発するためには、学生に関わる情報を集積しておくことが第一条件である。まずは、各部局が保有しているデータを、一元化しなければならない。そのために、各部局がどのようなデータを保有しているのかを明確にする必要がある。

次の段階では、各大学で作成されたデータベースが連携大学間で相互利用できるようにする。ただし、データベースの利用は、あくまでも学生・学習支援や、プログラムの開発が目的である。そのため、当然のことながら、他大学の教職員が個人を特定できる情報までを参照できるような設定は行わない。効果的な教育プログラムの開発のために、どのレベルの情報までを参照できることが妥当なのかといった「セキュリティ・ポリシー」については、連携大学間で検討を進める。

同時に、「学習支援型 IR」を有効に機能させるために、IR システム活用の担い手となる専門スタッフ（IR オフィサー）を、育成していく。

収集情報の例

入学前プログラム
保護者情報
入試成績
出身高校

プログラム参加

GPA、取得単位

支援利用状況

etc.



「学習支援型 IR」に蓄積されたデータをもとに、「入学前教育を受講しなかった学生の 1 年次の春学期の GPA は、受講した学生よりも低い傾向にある」という結果が出れば、入学前教育の受講を義務化する要因になるだろう。「学習支援型 IR」が利用できれば、該当する学生を即座にリストアップすることもできる。また、データを分析することで、学生自身も気づいていなかった潜在的な能力を引き出すことも可能となるだろう。

本取組では「学習支援型 IR」を構築し、そのデータをもとに効果的なプログラムの開発を行ない、学習成果を測定する。

3

年目

の相互利用の拡大と
拡大・充実
の試行・改善
学習支援型データベースシステムの分析・
利用したプログラム利用者の学習成果の検証

して学習支援型 IR を活用したプログラム開発および
の開発を行う。

私たちは、4 大学連携で取り組んでいます。



関西国際大学

三木キャンパス（大学本部）

〒673-0521
兵庫県三木市志染町青山 1 丁目 18 番
TEL.0794-85-2288（代表）FAX.0794-85-1102
URL <http://www.kuins.ac.jp/>
Eメール renkei09@kuins.ac.jp

▶人間科学部
人間心理学科 ビジネス行動学科

▶大学院
人間行動学研究科
人間行動学専攻

尼崎キャンパス

〒661-0976
兵庫県尼崎市潮江 1 丁目 3 番 23 号
TEL.06-6498-4755（代表）FAX.06-6498-4748

▶教育学部
教育福祉学科 英語教育学科



比治山大学

〒732-8509
広島県広島市東区牛田新町 4 丁目 1-1
TEL.082-229-0121 FAX.082-229-5100
URL <http://www.hijiyama-u.ac.jp/>
Eメール gakucho@hijiyama-u.ac.jp

▶現代文化学部
言語文化学科
地域文化政策学科（※2009 年度から募集停止）
マスコミュニケーション学科
社会臨床心理学科 子ども発達教育学科

▶大学院
現代文化研究科
現代文化専攻 臨床心理学専攻
附属心理相談センター



神戸親和女子大学
KOBESHINWA WOMEN'S UNIVERSITY

鈴蘭台キャンパス

〒651-1111
兵庫県神戸市北区鈴蘭台北町 7-13-1
TEL.078-591-1651 FAX.078-591-3113
URL <http://www.kobe-shinwa.ac.jp/>
Eメール kikaku@kobe-shinwa.ac.jp

三宮サテライトキャンパス センタープラザ教室

〒650-8539
兵庫県神戸市中央区三宮町 1-9-1
センタープラザ 9F

▶文学部
総合文化学科

▶発達教育学部
児童教育学科 心理学科
福祉臨床学科 ジュニアスポーツ教育学科

▶大学院
文学研究科〔修士課程〕（男女共学）
心理臨床学専攻 教育学専攻

▶通信教育部（男女共学）

発達教育学部
児童教育学科 福祉臨床学科



比治山大学短期大学部

〒732-8509
広島県広島市東区牛田新町 4 丁目 1-1
TEL.082-229-0121 FAX.082-229-5100
URL <http://www.hijiyama-u.ac.jp/>
Eメール gakucho@hijiyama-u.ac.jp

▶短期大学部
幼児教育科 総合生活デザイン学科
美術科
専攻科
幼児教育専攻（※2011 年度から募集停止）
栄養専攻
美術専攻

